

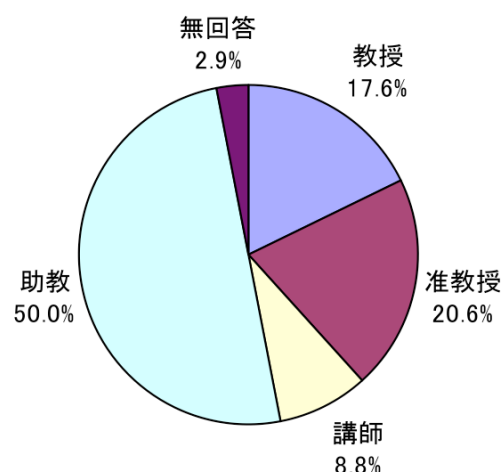
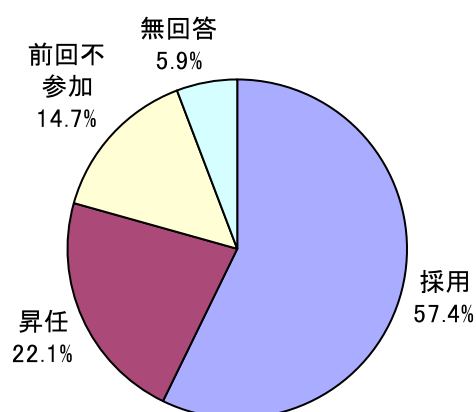
## 平成20年度 第1回 全学FD（新任教員の研修） アンケート結果 まとめ

【 参加人数：108人    回収数：68枚    回収率：63.0% 】

### ●参加者の属性

|                                 | 人数 | 回答数に対する割合 |
|---------------------------------|----|-----------|
| 平成19年4月2日から平成20年4月1日の間に採用の教員    | 39 | 57.4 (%)  |
| 平成19年4月2日から平成20年4月1日の間に昇任した教員   | 15 | 22.1      |
| 平成19年度第1回全学FDの参加対象者のうち参加できなかった者 | 10 | 14.7      |
| 無回答                             | 4  | 5.9       |

| 教授    | 准教授  | 講師  | 助教   | 助手 | 教務助手 | 無回答 |
|-------|------|-----|------|----|------|-----|
| 12人   | 14   | 6   | 34   | 0  | 0    | 2   |
| 17.6% | 20.6 | 8.8 | 50.0 | 0  | 0    | 2.9 |



質問1) 講演「九州大学の教員に求められる資質」(講師：柴田理事)で採り上げられた事柄以外に九州大学についてお知りになりたい事柄をお書きください。

### ○教員に求められる資質について (5件)

教員に求められる資質について、お話し頂ける時間があると良かったです(同様の意見が3件)／個々の教員が教育者、研究者として、どの程度のレベル(全国的に)を要求されているのかを、より具体的に知りたい(2件)

### ○伊都キャンパスについて（3件）

移転による教育環境の向上の度合い／伊都キャンパスに移転することによる受験生の変化（受験者数や偏差値の変化など）／伊都地区の「学研都市」としての構想と具体的なロードマップ。10年後、駅前～キャンパスはどうなるのか

### ○大学の方針について（3件）

国の交付金の消滅に対する根本的対策／アジア指向について／大学の組織について、独法となった大学独自でできること、できないことの区別を明確にして欲しいと考えます

### ○その他

着任した教員に対して規程に関する説明がない。どこにアクセスするのか知らせて欲しい／財務委員会の活動内容／やはり、学部・学府・研究院の間の関係がわかりづらい。どの教員がどこにかかわっているのかわかりづらい／全学教育に対する九大教員全員の関与状況／対外アピールポイント(特許、論文、受賞 etc)

質問2) 講演「九州大学の教育について」(講師：山田理事)で採り上げられた事柄以外に九州大学の教育についてお知りになりたい事柄をお書きください。

### ○大学の教育方針について（3件）

研究者としての意識が強い新任教員の教育へのモチベーションをどう高めるか／学生は東京や大阪に夢を見た言動を發します。(就職先等)九大の教員としては九州で活躍してほしい一面もありますが、偏見を押しつけるのもよくないと思います。教員は学生の人生にどの程度踏み込んだ意見をしていいものか？基準等知りたい／新任教員の教育への役割は？／資料が豊富ですので、これ以上、知りたいことはありません／最近教育現場を騒がせているリベラルアーツ型教育制度改革はアンケート結果からも社会的要望度がかなり低いように思える。いろいろ問題点が多く挙がっているリベラルアーツ型教育制度を何故推し進めようとするのか

### ○教育成果について（2件）

教育の効果測定を実施しているのか等をもっと知りたかった／博士学生充足率は結構だが、その後の学位はどうしているのか？修了後を追跡しているか？

### ○その他

授業評価の利用法。(何に利用されているのかを具体的に)／休学、引きこもり者への対策と効果／教育に係わる予算の積算根拠／来年4月までに一般教育の建物、施設整備は間に合うのでしょうか？／教育者元年の私にとって有意義なお話でした／大変に分かり易く良くまとまっ

ていた／大学院の学生定員について、留学生の割合についてはどう考えられているのでしょうか？定員を少しでも充足するために、留学生の方が非常に増えているように思われるが、教員・周囲の学生ともに、対応が全く追いついていなかったり、研究室の過半数が留学生だったりする状況になっている。また、近年来られている留学生の質の低下(日本語レベル、生活態度など)も感じます。きめ細かな対応ができないことで、留学生同士ばかりで固まる傾向があるようです

質問3) 講演「学生相談から見たハラスメント」(講師：福留准教授)に関して、さらに詳しくお知りになりたい事柄をお書きください。

#### ○具体的な対処について (5件)

学府研究室に決まっているのに、感情的な行き違いで、受入を拒否して、書類に教員が署名しない。というような緊急の事態にはどう対応するべきか／個人による感じ方の違いにどのように対処すべきか。普段から接していても、必要以上にプレッシャーを感じている人がいる。表に出さない人は、なかなかむずかしい／学生のメンタルケアなど／対処法一般／過度に厳しい指導。指導拒否などの箇所についてですが、新任教員の場合は、特に大学院生に関しては、自身が入学を認めたわけでもないのに、問題ある学生が既に存在していて指導せざるを得ないという状況があり得るわけで、そういう学生に対する対処の方法を話し合う機会になれば、「新任教員」へのFDとしての意義が出てくるかもしれないと思いました

#### ○大学の体制について (5件)

アメリカなどでは、カウンセラーだけでなく、弁護士等を大学が雇用して、法的な専門家も対応している。九大の体制はどうなっているのか？(2件)／実際の相談員のリスト／相談から解決まで、どの位時間がかかるものなのかを知りたい(2件)

#### ○具体的な事例及び統計、近年の傾向等について (4件)

具体的事例の紹介が必要だと思います／事例(長時間にわたって叱咤されたうえに、時にはなぐられたりお茶をかけられたりって、本当にそんなことが起こり得るんですか？)にリアリティがなく実感がわからない／性的以外、特にどの項目の相談が多いのか統計化してほしかった／学生の質の変化と申し立て件数の関係

#### ○学生と教員の意識の相違について (3件)

学生側と教員側のアカデミックハラスメントに対する考え、境界等の違い／教員はたいてい学生の成長を促す方向で指導を進めているはずだが、学生側の意識がなかなかついて来ない場合が多い。低年次の中に大学や大学院へと進む目的意識を身に付けさせて、教員と学生との意識のズレを少なくすることが重要だと感じる／学生側と教員側の意見に対して学校側は平

等に対応しているのかどうか不透明！学生同士がグループになって一教員を落とし入れた事例を知っているため、学校側の教員に対する取り扱いに不安がある

### ○加害者の指導・処分等について（2件）

ハラサー(加害者)への対応は、具体的には相談活動のみなのでしょうか？被害を受けた側の被害の深刻さはもちろんですが、ハラサーの方が放置されていれば、根本的解決にはなりにくいのではないかと思います／正式申し立て件数の割に処分のあった事例が非常に少ないようですが、その場合の学生に対するケアは？また、この事実が学生に相談をためらわせるのでは？

### ○その他

留学生等文化的な差からくる問題

質問4) 講演「九州大学の全学教育」(講師：淵田教授)に関して、全学教育についてさらにお知りになりたい事柄をお書きください。

### ○授業の担当について（4件）

どの教員がどの程度の割合でどのように担当しているのか？を具体的に知りたい／それぞれの学部教員の全学教育に対する具体的な担当コマ数のちがい／全学教育を担当したいと考えたとき、実際取るべき手続き／英語Ⅴの担当者は？低年次専攻教育、カリキュラムの例をあげて説明して欲しい

### ○授業評価について（3件）

アンケートは講座前後の差と比較して調査しているのか知りたかった／今後、優秀教員への表彰などの評価制度が発展し、給与体系に影響を及ぼす可能性はあるのか／授業評価が悪かったときには、どのように改善するようにしているのか

### ○GPA制度について（3件）

GPA の採点の割合の理想(到達目標の設定の目安にするため)→科目間の差があってはいけないのか否か／GPA について、総合大学では、必ずしも学部にしばられず、様々な講義を通じて知識を得ることが出来るという利点がある。GPA を厳格に適用するとこの総合大学の利点が失われるのではないかと案じている。一方、積み立て型の教育が必要な理系の専攻教育では、むしろ GPA がなじむと感ずるその場合でも再チャレンジ可能なシステムが望まれる／GPA 制度について、更なる発展的な改訂を行ってほしいと思います。資格取得のために多くの単位を取得する学生(例えば、教員免許取得のために 160 単位以上取得する学生もいます)が不利にならないように(単位数が多いとどうしても平均点が下がるので)して欲しいです。また 60 点の合格

点を取った人がDという成績になるのは、違和感があります。現行の表記法では、学生の就職活動に影響が出ることが懸念されます。(CやDばかりの成績表では、採用担当者の印象を悪くすると思います。伝統ある、優、良、可という表記法は活かしてほしいと思います。)

#### ○全学教育科目の位置づけについて（2件）

演習・実習・実験の位置付け／全学教育の詳細な定義(教養教育と基礎教育との関連)全学出勤体制と教養教育との関連

#### ○その他

助教にはほとんど関係無い／時間を守ってもらいたい(3件)

質問5) 事務手続等を含めて、現在困っておられること、疑問に思っておられることなどありましたらお書きください。

#### ○事務体制について（5件）

事務体系が分かりにくい。どの係で何の仕事を担当しているのか分からず、たらい回しになる事がしばしばです。事務手続きの仕方も、説明を受けていないので、いまだに有給休暇のとり方がわかりません／職員証(身分を証明するもの)がない。新任してすぐに様々な事務手続きが必要であるが、事務組織図はおろか、内線一覧表すらもらえず、まず窓口を探すのに膨大な時間を要する／どんな事務手続きがあり、どこどのように行わなければいいかわからない。一覧や統一マニュアルがあればうれしい／連絡時期が遅いことがある(2件)

#### ○事務手続について（4件）

教員に全ての事務手続きを課せられているが、事務に関しては習熟していない。熟練した事務官に行ってもらった方が無駄が少ない。教員は、研究、教育、実践、地域貢献ができる環境を作してほしい／自己評価、シラバス、ホームページ、薬品管理システム・・・コンピュータの前に座して打ち込みをやるのが教員の業務か？それが苦にならないのが教員の資質か？多すぎると思う／直接関係のないと思われる事務仕事が多すぎる／とにかく事務手続きが煩雑すぎる。特に、文系の事務方が統合されてから本当の意味で合理化を実感できたことがほとんど無い

#### ○情報環境、電子化について（2件）

外国出張などの時、メールの送信がうまくいかないことが多い。海外の大学、また日本の私大は、サーバーのメールボックスにログインして読むシステムになっている。九大はそのようなやり方を検討していないのか？／様式など電子決裁にしてほしい

### ○予算・研究費等について（5件）

予算システムで、教育、研究費の実験実習費を環境学科(学生 400+院生)の専攻(分野)で一括のポケットとなっており、講座ごとの使用がとてもやりにくい状態なので、せめて講座単位での配分ができるシステムに変更して欲しい・・・教育、研究に支障をきたすので／科研を筆頭に、フィールドワークなど外部での研究活動が非常にやりにくい支出方法(規則)になっている。“研究に資する”研究費でないと意味がない／科研費のあつかいなど／運営交付金が少ない(以前の大学の1/5~1/6)。しかも、研究室の引越費用の6割以上を負担させられたので、残りがほとんどない・・・／阪大から移ってきました。大型の若手向け選択研究費を2つとり、2つとも、H19年度に科研費に採択されるという業績を上げました。しかし、教授からは個人向けの研究費は大学や学科に何らメリットをもたらさないで、学生の配属を行う必要はないといわれています。これは大学の本当の方針なのか知りたく思います

### ○その他

教室、設備が余りにも貧弱で、このまま移転まであと10年(文系)授業を続ける事は考えにくい。早く移転すべきと思われる／教員の異動に伴った指導学生の受入体制の整備／新任教官に対して、どのような講義等担当することになるのか、説明がない

質問6) 新任教員研修(FD)において、どのようなプログラムが有意義だとお考えですか。

### ○授業方法・教育改善について（6件）

授業評価の高かった先生による教授法に関する講演や模擬授業／大学教育法(もっと具体的な例で)についての解説をもっとくわしくしていただけるとよかった／教育法・指導法の指南／九州大学全学教育活動表彰を受けた先生の話を知りたい／九大の学生が求める指導、教育が何かを実際に、聴いてみる機会を設ける。利害が絡むといけないので教員と同学部の学生からでなく、他学部の学生から聞くのがよいか。ある程度の傾向はつかめるはず。他大学からの赴任であると学生のレベルをつかむのに時間がかかった／学生の評価、教員の評価に関する具体的な講演を聞くことができるプログラム(GPA制度も含めて)

### ○その他

初回としては、今日のような全体像を把握する機会は重要だと思う。もう少しコンパクトでも良いように思われますが、シラバスを書く前に聴きかた話も多かったです／大変有意義であった。自分自身が正しく認識できていない点がある程度把握できた／本学の学府・研究院制度・組織は複雑で理解するのが大変である。これらの説明、設置した目的について1時間ぐらいの時間をかけて説明してほしい／いかに多くの研究費をとれるか／IT研修、コミュニケーション研修／ソフト(web CT)を含めて、FDのサポートを行うサービス、センターがないと、いくらセミナーなど

をやっても、教育改善は困難だろう／英語での自己紹介や九大についての説明の仕方を知りたいです。英文での大学案内を配布していただけるとありがたいです／学生の教育に力を入れる重要性には共感しますが、学生のニーズに振り回されてはならないと思います。中学・高校のように、教師が何もかも課題や目的を設定する必要はなく、もっと学生に自主的、自律的に学び方を学ばせる必要があるのでは、と思います。(教員がコーディネートしすぎると、学生は、自分で気づく機会を失います。)このような、教育観について、他の教員と討論し、考えを深めたい／参加者の中には今年度昇進した人や、昨年 10 月に採用された人などいると思うので、事前に、参加者からの意見聴取を行っても良いと思います

質問 7) その他、ご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

#### ○本日の FD について (12 件)

九州大学の概要がわかってよかったです。できれば、新規採用後、なるべく早く行っていただければ良かったと思います／今日の FD は、全体的に多くの内容をかけ足で、かいつまんでお話し頂いたような印象があり、良く理解できなかった箇所があります。個人的には、九州大学が抱える裏事情を話してくださった柴田先生のお話が大変興味深かったです(運営費のゼロ執行のお話など)／九大の組織についての説明や、現在の課題について教えていただいたのは、非常に参考になりました。講義の仕方についての研修は、初めて講義をされる方のみを対象として行った方がよいのではないのでしょうか／「概要 2007」の説明をしていただきましたが、何頁のどの図のどの部分について話しているのかよく分からなくなるところがあった。歴代の学長は全て理系なのですね。話を聞いていても、理系を念頭においている感じです。研究の仕方、授業の仕方は、理系と文系とでは違いがあります。この大学の運営は基本的に理系的発想(それも基礎系ではなく応用系)で進み、その発想で改革が進んでいるように感じます。文系教員はやりにくいのではないのかなあと、今からとても不安です。というよりも、この FD で不安になりました／資料が多いので、優先順位があれば教えて欲しい。ありがとうございます／e-learning で行ったらどうでしょうか?(一ヶ所に集めて行うのがよいか?)／日時の通知をなるべく早くお願い致します／各々が長時間に過ぎると思う／時間通りに終わらせて頂ければと思います(4件)

#### ○その他

箱崎・病院地区から伊都地区へのスクールバスは運行されているのでしょうか?なければ、運行をお願いしたいと思います／100 周年の募金額の目安が送られてきましたが、着任してすぐに他の教員(本学卒業そのまま着任など)と同レベルの額で募金した方がよいのか?／教員の負担が大きすぎるため FD に参加することすら困難な人が多い／学生の心理的問題についての話がありましたが、私が見ている限り、教員の中にうつ病と思われる人が多い気がします。教員が精神的に不安定では、学生に十分な指導をすることは難しいと思います。裁量労働制で月に 1 度

健康調査がありますが、正直にかける人は少ないのではないかと思います。1月～2月に1度くらいの割合で、健康調査兼カウンセリングみたいなものを全員に行うなど、教員側の心のケアが必要な気がします